



横瀬小学校

令和5年3月25日竣工

施設情報

所在地 埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬4556
 施設用途 小学校
 設計者 (株)大宇根建築設計事務所
 施工者 (株)高橋組
 竣工 令和5年3月25日
 構造 鉄筋コンクリート造2階建
 延床面積 3,237.94㎡
 使用木材 横瀬町有林の間伐材 1063㎡
 主な使用樹種 スギ、ヒノキ
 活用した補助事業 学校施設環境改善交付金



横瀬小学校は、鉄筋コンクリート造2階建、外断熱と自然エネルギー利用による省エネ校舎です。

各教室には横瀬町の町有林木材をふんだんに使用し、木の温もりのある校内。教室・廊下は段差がなく、バリアフリーにも対応しています。音楽室と家庭科室の可動式間仕切り壁を開放すれば、大空間の多目的ホールになり、様々な用途で活用できます。

- 1 音楽室／地元産の木材で仕上げた音楽室で、床にはヒノキを、壁や天井にはスギを用いています。
- 2 校舎入口／レンガ調の外観は横瀬の風景にも調和しています。右上写真／既存の木造校舎
- 3 普通教室／家具や腰壁などの内装材に地元産の木材をふんだんに使用し、温かみのある空間です。
- 4 廊下／内装木質化された廊下。教室間仕切りを開放すれば大空間となりワークスペースに様変わり。
- 5 ワークスペース／普通教室の可動式間仕切り壁を開放すれば、様々な用途で活用できるスペースに。
- 6 階段／広々としたスペースに、全校児童で制作した地元産の木材を利用したオブジェを設置。



木の温もりのある庁舎にしたい



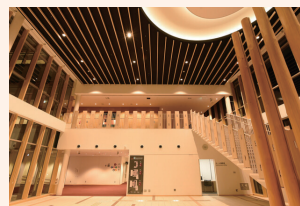
秩父の森の木

公共建築への使い方

新校舎に木を使いたい



秩父の木材を使った公共施設



秩父市役所本庁舎及び市民会館
 (竣工年:平成29年)



皆野町観光情報館
 (竣工年:令和2年)



秩父消防本部北分署
 (竣工年:平成24年)

秩父地域森林林業活性化協議会

埼玉県秩父市熊木町8-15
 (秩父市役所 環境部 森づくり課内)
 TEL.0494-22-2369



秩父木材協同組合

埼玉県秩父郡横瀬町5859-2
 (金子製材株式会社内)
 TEL.0494-22-6155



木材利用で
 SDGs に
 貢献したい



秩父地域森林林業活性化協議会
 秩父木材協同組合

令和5年3月竣工

小鹿野町役場新庁舎

小鹿野町役場新庁舎は2021年10月に着工（建築・施工費約13億2,500万円（うち木材調達費約9,700万円））町民に親しまれる拠点として、地産木材での木造庁舎建設にこだわりました。また、計画段階で埼玉県木造建築技術アドバイザー制度を活用し「木造建築技術に関する助言」などを受けました。町有林のスギやヒノキ約9,300本を伐採。町内の木材加工業者で製材するなど、秩父地域内で行ったことで地域経済にも貢献しました。採光、自然通風に配慮した構造と、高断熱、高機密性能、高効率空調機を整備し、木造によるZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）庁舎。冬は暖かく、夏は涼しい省エネルギー庁舎です。

施設情報

所在地	埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89
施設の用途	庁舎
事業主	小鹿野町役場
設計者	香山建築研究所
施工者	大成・高橋特定建設工事共同企業体
竣工	令和5年3月
構造	木造2階建て
地域区分	都市計画区域 非線引区域
耐火等の要件	イ-2準耐火構造(45分)
延床面積	2,403.73㎡
木材使用量	約590㎡(うち県産材約580㎡)
主な使用樹種	スギ、ヒノキ
活用した補助事業	○令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化のための高機能換気設備導入・ZEB化支援事業) ○令和3年度林業・木材産業構造改革事業(「埼玉の木」施設整備促進事業)補助金 ○住宅・建築物安全ストック形成事業社会資本整備総合交付金 ○令和4年度埼玉県新たな子育て家庭の基盤を早急に整備していくための支援事業補助金

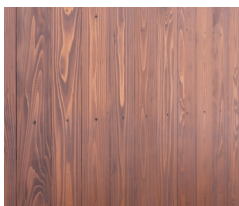


1 街並みに調和するように、建物の高さを軽減しています。また軒の出を深くとることで、光と影の移り変わりによって豊かな表情が生まれるようにしています。



6 議会だけでなく、多目的利用ができるように平土間とし、床には町産ヒノキ圧縮フローリングを用いています。

町有林の木材を積極的に利用



2 外装には、小鹿野町産の厚さ30mmのスギ板（耐久処理）を使用しています。



9 玄関周りには、小鹿野町産のヒノキ柱を用いています。建物正面の柱廊は、ヒューマンスケールを生み出し来庁者を優しく迎え入れる表情を作り出します。



庁舎建設には大量の木材が必要です。伐採、乾燥、加工の各工程にも時間がかかるため、建設工事に先行して調達をしました。



切り出した木材の保管から製材まで、すべてを地域内で行いました。



3 来庁者の姿がすぐわかるように壁を極力無くした見通しの良い執務空間としています。



4 格子天井は、秩父銘仙をイメージした柔らかな形状に。金属製の下地材には、定式幕の色調を用い小鹿野歌舞伎もデザインモチーフにしています。



5 平角製材を2本ビスで一体化した「組立柱」を用いることで、地元の製材を最大限に使用しています。



7 自然光を建物の内部に導くためにバサージュ上部にハイスайдライトを設けています。南北面には、町産スギ薄板を挟み込んだガラス窓を設置しています。



8 地場産材によるスギ組立柱には、燃えしろ層が見込まれており、45分間の準耐火性能を持たせています。

木造施設をつくりたいが木材をどのように調達すればよいか
分からない・・・ **ご相談ください**

相談料無料

埼玉県木造建築技術アドバイザー制度

埼玉県農林部森づくり課 木材利用推進・林業支援担当
埼玉県さいたま市浦和高砂3-15-1
TEL. 048-830-4318



木造公共建築物整備の手引

埼玉県農林部 森づくり課

市町村が公共建築物整備の際に、木材を使用する場合の手法や木材調達などの留意点などを、担当者にもわかりやすい「手引」として取りまとめました。(PDF形式)



木造庁舎完成までのQ&A

小鹿野町役場 総務課 有限会社 香山建築研究所
まちづくり推進室 担当者 一級建築士 松本洋平さん

Q 木造庁舎建築のメリット

（町担当者） 先人たちが守り育ててきた町有林のスギ・ヒノキを使用して建設することで、町民に愛着と親しみを感じてもらえるでしょう。
また、素材生産から製材まですべてを地域内で行うことにより、林業や製材業など、地場産業振興につながります。

（松本） 同様の環境にある他の自治体にとって今後の公共建築事業計画の参考になると思います。
木造建築の空間は、他構造に比べて、断熱性に優れており温かみを感じやすく、快適性が大変高いと思います。

Q 地域木材を使う上の工夫点

（町担当者） 町有林からの原木で製材するため、製材寸法に対する適寸径級と町有林から伐り出された原木の径級を照らし合わせながら、原木の必要本数を確保しました。また、庁舎建設の作業工程に合わせて木材を支給したため、支給木材の製材工程の調整や品質管理に配慮しました。

（松本） 木材コーディネータや木構造アドバイザー制度を事業初期段階から積極的に活用することで、実行性の高い計画を作成することができました。また、設計段階から、地元で調達可能な木材サイズなどを、木材関係者と共有しておくことで調達側への過度な負担が軽減されました。

Q 使用木材の価格・予算感

（町担当者） 使用した木材は、建設工事とは別契約で製材品として調達し、建設工事を請負った業者に引き渡し建築資材用に加工して使用しました。
支給した木材量／木材調達契約額約97百万円、木材調達量(木材使用量)424㎡
97百万円÷424㎡≒229千円/㎡
※支給した木材は板材及び集成材を含む

Q 苦労した点・アドバイス

（町担当者） 町の調達で木材を支給したため、施工者の要求数量と支給数量の差異が生じたので、木材支給担当者自身が施工図から木拾いをし直して、施工者と協議して数量調整を行いました。

（松本） 少数ですが規格寸法を超える特注サイズの木材(8mの柱)の調達が容易ではなく、「あるものを使わざるを得ない」という状況もありました。支給木材の木取りなど、設計者の想定と生産者側の対応に一部意見の違いがあり、調整が必要でした。本施設においては、「組立柱」という地場産製材を有効活用するための新技術を採用しています。これに用いる材については、他の構造材以上に強度や含水率など慎重な確認が必要でした。
ここでは書ききれませんが、是非、小鹿野庁舎をご参考に、秩父の木材を使った施設建築をご検討ください。

※町有林・・・小鹿野町が所有し、整備及び、管理している森林。

※木拾い・・・設計図書から何がどれだけ必要なかを算出し、数量や等級とともに一覧にして金額を添える。